

シラバス

2022年度版



鍼灸医療科第二部 2年

学校法人 赤門宏志学院

赤門鍼灸柔整専門学校

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	吉本 豊 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	鍼灸応用実技Ⅲ	曜日・時間	月曜日 17:40～

【授業概要・目標】
 臨床の現場に入ったときに即戦力となるための、臨床能力を身に付けることを目標とする。症例を通して患者様との接遇・コミュニケーション・症状などの情報を引き出す会話術と、検査法を通して解剖学的・神経学的異常を発見でき病名を導き出すため思考力・発想力を訓練する。共に、東洋医学として論理的に症を判断し・治療原則を考察し・根拠のある治療方法を導き出し、治療を行う。治療後、予後の説明と、日常生活上のアドバイスをすることが出来るようにする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション (授業内容説明など)
2	鍼灸実力・経穴実力テスト
3	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 頸部疾患
4	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 頸部疾患
5	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 上肢疾患
6	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 上肢疾患
7	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 背部疾患
8	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 背部疾患
9	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 腰部疾患
10	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 腰部疾患
11	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 下肢疾患
12	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 下肢疾患
13	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 足部疾患
14	前期試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 目の疾患
2	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 耳の疾患
3	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 鼻の疾患
4	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 口の疾患
5	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 呼吸器の疾患
6	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 胃の疾患
7	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 小腸の疾患
8	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 大腸の疾患
9	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 腎臓の疾患
10	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 膀胱の疾患
11	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 子宮の疾患
12	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 心臓の疾患
13	鍼灸基礎技術訓練・治療理論構築と 施術 脳の疾患
14	後期試験
15	評価点検

評価方法	2年生レベルの十分な基礎技術を獲得できたか。基礎理論を使い治療方法を構築できたか？
授業の進め方	コーチングテクニックを用いて授業に望み、生徒の自主的な能力向上意欲の惹起に努める。
注意 (学生に望むこと)	自分で考え、発想し、決断し、修正できるように！！
テキスト・参考書	症例集 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

ノリヘリ...

延内未...

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	伊東 太郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	病理学概論	曜日・時間	月曜日 19:15～

【授業概要・目標】 (1) 病理学の基本の習得 (2) 生理学の復習

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	第1章 病理学とはどのような学問か
3	第2章 疾病についての基本的な考え方
4	第3章 病因 (1)
5	第3章 病因 (2)
6	第3章 病因 (3)
7	第3章 病因 (4)
8	第3章 病因 (5)
9	第4章 循環障害 (1)
10	第4章 循環障害 (2)
11	第4章 循環障害 (3)
12	第5章 退行性病変 (1)
13	第5章 退行性病変 (2)
14	前期学習内容の復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期内容の確認試験
2	第6章 進行性病変 (1)
3	第6章 進行性病変 (2)
4	第7章 炎症 (1)
5	第7章 炎症 (2)
6	第7章 炎症 (3)
7	第8章 腫瘍 (1)
8	第8章 腫瘍 (2)
9	第8章 腫瘍 (3)
10	第8章 腫瘍 (4)
11	第9章 免疫異常・アレルギー (1)
12	第9章 免疫異常・アレルギー (2)
13	第10章 先天性異常
14	後期学習内容の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

評価方法	小テスト(30%)＋期末試験(70%)を総合して評価。
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を中心にスライドで講義。 ・毎回の小テストで理解を深める。
注意 (学生に望むこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・A4ファイルを1冊用意すること。 ・分からないところはそのままにせず、調べてみる。
テキスト・参考書	『病理学概論』(市洋療法学校協会編)、配布プリント

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	山田 秀一郎	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	鍼灸応用実技Ⅱ	曜日・時間	火曜日 17:40～

【授業概要・目標】

実技を中心とした授業。治療目的を構成するための基本を身につける。応用できるようにする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	1年時の実技基本の確認。
2	経絡の概念等について
3	選穴、実技における過誤の処置、捻鍼法の説明
4	選穴、選穴を中心とした取穴、刺鍼(捻鍼)
5	選穴、選穴を中心とした取穴、刺鍼(捻鍼)
6	配穴説明、配穴中心の取穴、刺鍼
7	配穴説明、配穴中心の取穴、刺鍼
8	配穴説明、配穴中心の取穴、刺鍼
9	補瀉説明と実技
10	補瀉の実技
11	総復習
12	総復習
13	前期実技試験
14	前期復習
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	五俞、五行穴について説明、取穴
2	五俞、五行穴の取穴、刺鍼
3	六十九難の説明
4	肺、脾虚実に対する六十九難の取穴、刺鍼
5	心、肝虚実に対する六十九難の取穴、刺鍼
6	心包、肝虚実に対する六十九難の取穴、刺鍼
7	肝、腎虚実に対する六十九難の取穴、刺鍼
8	腎、肺虚実に対する六十九難の取穴、刺鍼
9	大腸、胃虚実に対する六十九難の取穴、刺鍼
10	三焦、小腸、胆虚実に対する六十九難の取穴、刺鍼
11	膀胱、大腸虚実に対する六十九難の取穴、刺鍼
12	総復習
13	後期実技試験
14	後期復習
15	評価点検

評価方法	実技80%、平常点20%で評価
授業の進め方	毎回組む相手を替え、その日の課題に対して実技を行う。
注意 (学生に望むこと)	施術に対して真剣に取り組む。
テキスト・参考書	

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	高橋 務	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	運動学	曜日・時間	火曜日 19:15～

【授業概要・目標】
解剖学的知識を基礎として、運動学・運動力学について基礎的知識を学習する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 運動(力)学の基礎
2	身体運動の面と軸
3	運動の表し方 運動の法則
4	骨の構造と機能①
5	骨の構造と機能②
6	関節の構造と機能③
7	関節の構造と機能④
8	立位体前屈の計測と変化①
9	立位体前屈の計測と変化②
10	立位体前屈の計測と変化③
11	上肢(帯)の運動学①
12	上肢(帯)の運動学②
13	上肢(帯)の運動学③
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	前期評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	下肢(帯)の運動学①
2	下肢(帯)の運動学②
3	下肢(帯)の運動学③
4	握力の計測と変化①
5	握力の計測と変化②
6	握力の計測と変化③
7	重心と重心線
8	歩行①
9	歩行②
10	歩行③
11	背筋力の計測と変化①
12	背筋力の計測と変化②
13	背筋力の計測と変化③
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	後期評価点検

評価方法	筆記試験、小テスト、出席(授業態度も含む)などの総合評価
授業の進め方	解剖学と併せて身体の基礎から始め、応用や実験へと移行する。
注意 (学生に望むこと)	解剖学的知識を把握し、運動学に活かせる様にする。
テキスト・参考書	特になし

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

ノリヘリ...

付にはし

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	高橋 武彦	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	臨床医学総論	曜日・時間	水曜日 17:40～

【授業概要・目標】
 身体構造や機能を理解したうえで、鍼灸臨床に必要な診察知識、技術を身に付ける。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 第1章 診察の概要
2	第2章 診察の方法 (1)
3	第2章 診察の方法 (2)
4	第2章 診察の方法 (3)
5	第3章 生命徴候の診察
6	第4章 全身の診察 (1)
7	第4章 全身の診察 (2)
8	第4章 全身の診察 (3)
9	第4章 全身の診察 (4)
10	第5章 局所の診察 (1)
11	第5章 局所の診察 (2)
12	第5章 局所の診察 (3)
13	第5章 局所の診察 (4)
14	前期総合復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第6章 神経系の診察 (1)
2	第6章 神経系の診察 (2)
3	第7章 運動機能検査 (1)
4	第7章 運動機能検査 (2)
5	第7章 運動機能検査 (3)
6	第8章 その他の診察
7	第9章 臨床検査法
8	第10章 おもな症状の診察法(1)
9	第10章 おもな症状の診察法(2)
10	第10章 おもな症状の診察法(3)
11	第10章 おもな症状の診察法(4)
12	第10章 おもな症状の診察法(5)
13	第10章 おもな症状の診察法(6)
14	後期総合復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	出席、定期試験、授業態度、小テスト、課題提出の総合判定とする。
授業の進め方	教科書を中心にポイントを確認する。解剖的な構造、機能を復習する。
注意 (学生に望むこと)	教科書の内容、語句を確認し、理解度を深めるための努力をする。
テキスト・参考書	臨床医学総論 その他解剖学 生理学 運動学等

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

ノリハシマシ

脚杯迄于心端、Cの世群可于、工性于、廷劫于守

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	東洋療法診断法 I	曜日・時間	水曜日 19:15～

【授業概要・目標】
東洋医学の施術において必要となる診断法の習得。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	鍼灸臨床の流れ
2	基本的な問診の仕方
3	腰痛の主要疾患
4	腰痛の問診
5	腰痛の診察法
6	坐骨神経痛の主要疾患
7	坐骨神経痛の問診
8	坐骨神経痛の診察法
9	膝関節痛の主要疾患
10	膝関節痛の問診
11	膝関節痛の診察法
12	頸肩四肢痛の主要疾患
13	頸肩四肢痛の問診
14	頸肩四肢痛の診察法
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	四診の概要、望診
2	舌診
3	聞診
4	問診(主訴の聴き方)
5	問診(寒熱)
6	問診(飲食・睡眠)
7	問診(飲食・睡眠)
8	問診(情志・生活環境)
9	問診(身体各部位の症状・汗)
10	問診(疼痛)
11	問診(女性・既往歴・家族歴・小児)
12	切診(反応・切経)
13	切診(腹診)
14	後期の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	板書、パワーポイントの活用
注意 (学生に望むこと)	板書の記録
テキスト・参考書	前期・問診、診察ハンドブック 後期・東洋医学概論

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

シラバス

前期・中期・後期・卒業論文、後期・卒業論文

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	柏倉 利一	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	臨床経穴論	曜日・時間	木曜日 17:40～

【授業概要・目標】

3年生の臨床に必要な経穴の情報を学び臨床の応用基礎知識の取得

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	年間スケジュール、五要穴について
2	五要穴・肺経、流注
3	五要穴・大腸経、流注
4	五要穴・胃経、流注
5	五要穴・脾経、流注
6	五要穴・心経、流注
7	五要穴・小腸経、流注
8	五要穴・膀胱経、流注
9	五要穴・腎経、流注
10	五要穴・心包経、流注
11	五要穴・三焦経、流注
12	五要穴・胆経、流注
13	五要穴、肝流注
14	任脈、流注
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	試験返却、質疑応答

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	督脈、流注
2	五行穴について
3	五行穴・肺経、大腸経
4	五行穴・胃経、脾経
5	五行穴・心経、小腸経
6	五行穴・膀胱経、腎経
7	五行穴・心包経、三焦経
8	五行穴・胆経、肝経
9	常用穴
10	常用穴
11	常用穴
12	常用穴
13	奇穴
14	奇穴
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	試験返却、質疑応答

評価方法	試験の評価だけでなく授業に対する意識も評価
授業の進め方	人数が少ないので質疑応答し必要な実技
注意 (学生に望むこと)	事前に予習を望む
テキスト・参考書	澤田浩 巨野ホプパル

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

ノリヘリ...

洋田加、長野武ノ...

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	古川 雄一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	臨床医学各論 I	曜日・時間	木曜日 19:15～

【授業概要・目標】
各疾患についての疫学、成因、症状などを学習する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	感染症Ⅰ
2	感染症Ⅱ
3	感染症Ⅲ
4	消化器疾患Ⅰ
5	消化器疾患Ⅱ
6	消化器疾患Ⅲ
7	消化器疾患Ⅳ
8	肝・胆・膵疾患Ⅰ
9	肝・胆・膵疾患Ⅱ
10	肝・胆・膵疾患Ⅲ
11	呼吸器疾患Ⅰ
12	呼吸器疾患Ⅱ
13	呼吸器疾患Ⅲ
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腎・泌尿器疾患Ⅰ
2	腎・泌尿器疾患Ⅱ
3	腎・泌尿器疾患Ⅲ
4	内分泌疾患Ⅰ
5	内分泌疾患Ⅱ
6	代謝・栄養疾患
7	循環器疾患Ⅰ
8	循環器疾患Ⅱ
9	循環器疾患Ⅲ
10	循環器疾患Ⅳ
11	血液・造血疾患Ⅰ
12	血液・造血疾患Ⅱ
13	血液・造血疾患Ⅲ
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験
授業の進め方	板書・配布資料 教科書に基づいてプリントを進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意 (学生に望むこと)	身体の構造と機能をもとに疾患の理解を深める
テキスト・参考書	テキスト・臨床医学各論 参考書・病気がみえる

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

シラバス

シラバス

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	上田 耕介	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	社会学(半期)	曜日・時間	前期) 金曜日 17:40～

【授業概要・目標】

社会学の基礎概念を学び、それを医療と関連づけて考えることにより、医療者の社会的責任を自覚する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	社会学の基礎概念(1)
2	社会学の基礎概念(2)
3	社会学の視点(1)
4	社会学の視点(2)
5	保健医療と社会学
6	健康とは何か
7	健康と社会格差
8	患者—医療者関係
9	専門職
10	ジェンダー、家族
11	福祉国家と保健医療(1)
12	福祉国家と保健医療(2)
13	福祉国家と保健医療(3)
14	現代医療の課題
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

評価方法	学期末に筆記試験を行い評価する。
授業の進め方	教科書に沿って講義を行う。
注意 (学生に望むこと)	普段から社会のことに興味を持って欲しい。
テキスト・参考書	『系統看護学講座 基礎分野 社会学』

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

ノリハシマシ

『不帆自暖于暗注 至誕力封 仕五于』

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	高崎 駿士	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	漢文学(半期)	曜日・時間	後期) 金曜日 17:40～

【授業概要・目標】 ・基本的な漢文読解能力を得る。 ・『靈枢』等の古代中国医学書に関する基本的知識を得る。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	ガイダンス
2	漢字の成立(第二、三章)
3	基本文法と訓読法(第四、五章)
4	短文読解 其一(第六章)
5	短文読解 其二(第六章)
6	短文読解 其三(第六章)
7	『靈枢』の読解 其一
8	『靈枢』の読解 其二
9	『靈枢』の読解 其三
10	『靈枢』の読解 其四
11	演習 其一
12	演習 其二
13	演習 其三
14	演習 其四
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	試験と授業中の発表・課題提出によって評価する。
授業の進め方	テキストを中心に、適宜配布資料を用いて進める。
注意 (学生に望むこと)	積極的に授業に参加すること。
テキスト・参考書	浦山きか『漢文で読む『靈枢』～基礎から応用まで～』(アルテミア・2006)、その

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

ノリヘリ...

他(授業中に紹介する)

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	今野 弘務	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	東洋医学各論 I	曜日・時間	金曜日 19:15～

【授業概要・目標】

- 1、身体の生理作用の知識をより深める
- 2、病証、病因、病機の習得
- 3、四診の習得

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	肝の病証(p81～84)胆の病証(p84) 肝と胆の相互関係(p85)
2	心の病証(p90～94)小腸の病証(p94～95) 心と小腸の相互関係(p95)
3	脾の病証(p100～102)胃の病証(p103～104) 脾と胃の相互関係(p105～106)
4	肺の病証(p110～113)大腸の病証(p114) 肺と大腸の相互関係(p114)
5	腎の病証(p120～123)膀胱の病証(p123～124) 腎と膀胱の相互関係(p124)
6	五臓の相互関係①(p127～142)
7	五臓の相互関係②(p127～142)
8	五臓の相互関係③(p127～142)
9	五臓の相互関係④(p127～142)
10	全身の気機①(p143～149)
11	経絡(p150～160)
12	病因病機①(p161～180)
13	病因病機②(p161～180)
14	病因病機③(p161～180)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	望診(望神など)(p201～212)
2	望診(舌診など)(p201～212)
3	聞診(p213～218)
4	問診(寒熱など)(p219～225)
5	問診(飲食、睡眠など) (p225～228)
6	問診(二便など)(p228～232)
7	問診(身体各部位の症状など) (p232～238)
8	問診(汗など)(p238～240)
9	問診(疼痛など)(p240～244)
10	問診(女性など)(p244～248)
11	切診(腹診、背診など)(p249～255)
12	切診(脈診など)(p255～267)
13	切診(脈診など)(p255～267)
14	「四診」のまとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	評価は前期・後期試験の点数を基本とし、小テスト、平常点を加味して評価する。
授業の進め方	授業の進め方は、基本的に教科書通りとする。
注意 (学生に望むこと)	東洋医学は、馴染みのない理論、哲学のため、それを「信じる」「信じない」に関わらず、まずはその内容を理解するよう努めてほしい。
テキスト・参考書	東洋医学概論

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

ノリハシマ

本学

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	黄 淵 熙	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	心理学	曜日・時間	土曜日 13:10～

【授業概要・目標】

心理学の主に基礎的分野に関する代表的な理論を中心とし、心理学全般における基礎知識の習得と理解を目的とする。前期では、知覚、記憶、知能、学習など認知心理学と発達心理学の領域を中心とする。後期では、心理学の応用分野に関する知識を習得することを目的とし、心の発達、社会のなかでの人間、適応への援助など社会心理学、パーソナリティ心理学、臨床心理学の領域を中心とする。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション	1	心の発達(愛着、心の理論)
2	心理学とは。心理学の領域	2	発達障害
3	知覚	3	社会と人間1(対人認知)
4	記憶1(記憶の種類)	4	社会と人間2(対人魅力)
5	記憶2(記憶と老化)	5	社会と人間3(社会的影響)
6	学習1(古典的条件付け)	6	社会と人間4(態度)
7	学習2(動機づけ)	7	社会と人間5(集団と個人)
8	知能(遺伝か環境か)	8	社会と人間6(愛他的行動)
9	知能検査の概要	9	社会と人間7(攻撃行動)
10	知能検査の実際	10	パーソナリティとは
11	欲求	11	性格の測定
12	生涯発達理論	12	ストレスとサポート
13	認知発達	13	心理的援助
14	言語発達	14	アンガーマネジメント
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)	◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検	15	評価点検

評価方法	出席状況30%、試験70%
授業の進め方	授業内容の提示はスライドによる。スライドに提示されていない内容に関しては各自配布資料にメモを取るようにする。
注意 (学生に望むこと)	授業後に復習を行うこと
テキスト・参考書	適宜資料を配布する

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	亀井 啓	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	鍼灸応用実技 I	曜日・時間	土曜日 14:50～

【授業概要・目標】

鍼灸臨床の中で最も多く扱われている腰痛、坐骨神経痛、膝関節痛、頸上肢痛、五十肩を対象の中心とした問診法、及び実技習得の向上を目標とする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	頸上肢痛(理論)
2	頸上肢痛(理論)
3	頸上肢痛(実技)
4	頸上肢痛(実技)
5	頸上肢痛(確認)
6	五十肩(理論)
7	五十肩(理論)
8	五十肩(実技)
9	五十肩(実技)
10	五十肩(確認)
11	五十肩(確認)
12	シュミレーション課題によるPBL チュートリアル
13	実技テスト
14	前期総括
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腰痛、坐骨神経痛(理論)
2	腰痛、坐骨神経痛(理論)
3	腰痛、坐骨神経痛(実技)
4	腰痛、坐骨神経痛(実技)
5	腰痛、坐骨神経痛(確認)
6	膝関節痛(理論)
7	膝関節痛(理論)
8	膝関節痛(実技)
9	膝関節痛(実技)
10	膝関節痛(確認)
11	膝関節痛(確認)
12	シュミレーション課題によるPBL チュートリアル
13	実技テスト
14	後期総括
15	評価点検

評価方法	前期、後期筆記試験、実技試験、小テスト(実力試験)、授業態度、日常態度全てに鑑みて判断する。
授業の進め方	テキストに基づいて双方向性の授業を心がける。後半時期にPBLチュートリアル方式にてシュミレーションができるように期待する。及び実技習得の向上を目標とする。
注意 (学生に望むこと)	日常における予習復習の励行。授業に関係なしに貪欲に様々な医療知識を吸収しようという態度。
テキスト・参考書	問診診察ハンドブック、整形外科テスト法

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	糟谷 俊彦	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	手技療法Ⅱ	曜日・時間	土曜日 16:30～

【授業概要・目標】

基本的な全身指圧ができるようにし、治療に必要な矯正手技(関節モビライゼーション)を知り、臨床について、考えられるようにする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	指圧の意義、押圧操作、3原則、圧法、背部の指圧、撫擦法、脊椎触察、手掌圧、母指圧
2	背部指圧、肩甲間線、骨盤、臀部
3	背部、臀部、下肢部
4	背部、臀部、下肢部、後頭部、後頸部
5	背部、臀部、下肢部、後頭部、後頸部、前頭部、顔面部、前頸部
6	背部、臀部、下肢部、後頭部、後頸部、前頭部、顔面部、前頸部、上肢部、胸部
7	背部、臀部、下肢部、後頭部、後頸部、前頭部、顔面部、前頸部、上肢部、下肢前面部
8	背、臀、下肢、後頭、後頸、前頭、顔面、前頸、上肢、下肢前面、胸、腹部
9	背、臀、下肢、後頭、後頸、前頭、顔面、前頸、上肢、下肢前面、胸、腹、側、座位
10	指圧一伏臥位 関節モビライゼーションについて、直接法、注意事項
11	指圧一仰臥位、側臥位、座位、モビライゼーション・指関節
12	指圧一伏臥位、モビライゼーション・手根中手関節、手関節
13	指圧一仰臥位、側臥位、座位モビライゼーション・手関節
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	モビライゼーション・尺骨、肘関節
2	モビライゼーション・肩関節
3	モビライゼーション・趾関節、足骨中足関節
4	モビライゼーション・楔舟、距舟関節、距腿、距骨下関節、
5	モビライゼーション・膝関節、股関節
6	モビライゼーション・仙骨、腰椎、胸椎、肋骨
7	モビライゼーション・頸椎、間接法について
8	モビライゼーション・直接法復習、間接法
9	モビライゼーション・直接法復習、間接法
10	指圧一伏臥位
11	指圧一仰臥位、側臥位、座位
12	指圧一伏臥位
13	指圧一仰臥位、側臥位、座位
14	実技試験
15	評価点検

評価方法	実技試験・・・65点以上
授業の進め方	指圧、関節モビライゼーションの実技を主に行う
注意 (学生に望むこと)	指圧、関節モビライゼーションを、鍼灸の臨床に、応用できるようにする。
テキスト・参考書	指圧は、プリント、 関節モビライゼーションは、ノンスラストによる関節モビライゼーション(緑書房)

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	臨床実習Ⅱ	曜日・時間	一曜日 一時限

【授業概要・目標】

①患者と適切なコミュニケーションがとれる。②施術準備ができる。③基本的な事項について診療録に記載ができる。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)	1	臨床実習(14)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)	2	臨床実習(15)
3	臨床実習(1)	3	臨床実習(16)
4	臨床実習(2)	4	臨床実習(17)
5	臨床実習(3)	5	臨床実習(18)
6	臨床実習(4)	6	臨床実習(19)
7	臨床実習(5)	7	臨床実習(20)
8	臨床実習(6)	8	臨床実習(21)
9	臨床実習(7)	9	臨床実習(22)
10	臨床実習(8)	10	臨床実習(23)
11	臨床実習(9)	11	—
12	臨床実習(10)	12	—
13	臨床実習(11)	13	—
14	臨床実習(12)	14	—
◆	—	◆	—
15	臨床実習(13)	15	—

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸医療科第二部 2年
科目名	臨床実習Ⅲ	曜日・時間	一曜日 一時限

【授業概要・目標】

①患者と適切なコミュニケーションがとれる。②施術準備ができる。③基本的な事項について診療録に記載ができる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	—
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	—
12	—
13	—
14	—
◆	—
15	—

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし